

世界かんがい施設遺産

たきのゆせぎ・おおかわらせぎ

滝之湯堰・ 大河原堰

[長野県・茅野市]

Takinoyu-segi and Ohkawara-segi Irrigation System

河川と水路を組み合わせた
「繰越堰」



■農業用水をめぐる争いの絶えなかった1700年代後期に、坂本養川によって開削された用水路で、コメの収穫量の増大に成功し地域の発展に貢献。

■養川が考案した「繰越堰」は、比較的水量が豊富な複数の河川を用水路で結び、用水を補給しながら水不足の地域に導く、当時では先進的な水利システム。

■例えば、大きな高低差がある地形のところでは落差工として人工の滝をつくるなど、画期的な手法が用いられ、現在も用水が流れ落ちるその壮麗な姿は観光名所として人気が高い。



岩をくりぬいた水路（滝之湯堰）



江戸時代の落差工である乙女滝（大河原堰）



滝之湯堰のほとりに立つ坂本養川像



下流域への水も確保するため、あえて漏水する構造の芝湛（しばたたえ）（大河原堰の取水口）